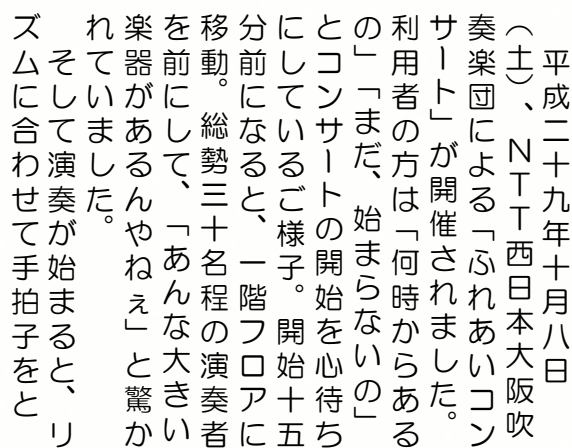




り、馴染み深い『高原列車は行く』の演奏が始まると、殆どの方が大きな声で歌われたり、口ずさまれたりしていました。中には、あまりの素晴らしい演奏に、感極まって涙を流されている方もおり、その方にお話を聞くと、「もう、本当に素晴らしくてねえ」と涙まじりに笑われておりました。最後の曲は、『365歩のマーチ』でした。「一日一步 三日で三步・・・」と皆さん、笑顔で元気に歌い、最後に相應しい一曲となりました。

演奏後、利用者の方に感想をお聞きすると、「普段、演奏会に行こうと思ってても足もしんどいし、一人ではなかなか行けないから、とても良かったわ」と仰られる方。また、耳が遠く、普段はなかなか音楽が聞こえない方でも「今日は、はっきり音楽が聞こえたわあ」と笑顔で喜ばれている方。大迫力の演奏に、皆さん興奮冷めやらぬ様子でした。皆さんの記憶に残る良い行事になったのではないかと思います。来年もどんな演奏をして下さるのか、今から楽しみですね！



十月のおやつ作りは、久しぶりに和菓子です。「あん巻き」は、厨房の手作りおやつとして一度出たことがあります。利用者の方が「美味しい」と喜ばれていた事が印象的で、皆さんと挑戦してみたいと思い、今回企画しました。まず、生地作りですが、生地に卵を入れる時「お皿で卵を混ぜてからうつすの?」「もしそのまま入れて卵が悪かったら大変でしょう?」と教えて頂き、長年お料理をされているからそのお話でした。その後、生地を作る方、焼く方、仕上げをされる方と作業を分担し、焼く方は「家でよくお好み焼きをしょってん!懐かしい」と、次々に生地をひっくり返えされていました。半生の状態の時も。職員の「まだ、早いです!」の声も届かず、お見事なコテさばきで焼き上げていかれました。仕上げは、焼いた生地に餡子をのせて巻きます。職員に「どれぐらい餡子をのせるの?」と聞きながら、上手に巻いていき、巻いた物を半分に切って、断面を見せて、お皿に盛り付ければ完成です。

緑茶と一緒に召し上がって頂きました。「モチモチとしてるわ」「甘くて美味しい」「お茶とよく合うわ。」と好評!

来月は、「みたらし団子」を予定しています。どうぞ、お楽しみに!

干支シリーズ第1弾 きめこみ【張子戌】

干支シリーズが早々に登場！一弾目はきめこみです。可愛いサイズの『張子戌』。今年は二十三名と予想以上の参加者となりました。

「きめこみ」は、ボードに布を置き、目打ちをねかせて、布の上から二三往復させてなぞり、布の端を入れて作るものです。しかし、布を上に乗せてしまうと、溝が見えなくなり、また、布が多くても入りづらく、大変難しいものです。「きめこみは初めてだけど、刺繍をしていたから細かい作業は得意よ」とTさん。思ったように上手く行かず、悪戦苦闘。「自信をなくすわ・・・」と仰られていましたが、職員と協力しながら頑張って完成させて下さいました。また、参加者の中で手の痺れや痛みが出ないかと心配されていた方もいましたが、どの方よりも熱心で上手に仕上げられていました。出来上がると「手がこんなんやから、したくても我慢していたけれど、出来て嬉しい！」と大変喜んで下さいました。干支シリーズは、毎年好評で多くの方が参加して下さいます。次は、『根付』『三連タペストリー』『ブローチ』と続きますので、皆さんお楽しみに！



【なつメロ会】

今年の十月で『なつメロ会』は一年を迎え、須磨デイサービスの恒例行事となっています。以前は『アコーディオン演奏』として歌と演奏を披露して下さいましたが、アコーディオン奏者の垣内先生が体調を崩されてからは、一緒に活動されていた尾上さんが跡を引き継ぎ、名前を変えて行っています。

『なつメロ会』は毎月一回、曜日を替えて実施。十四時から約一時間程、歌本を使って皆さんと一緒に楽しく歌を唄っています。メンバーは四名で、平均年齢は七十歳。演歌、コーラスと分野は様々ですが、音楽が好きで好きでたまらない方ばかりです。

今月は二十五日（水）に実施。『小さい秋みつけた』『紅葉』『里の秋』など、秋の曲を沢山唄いました。代表者の尾上さんは「好きだからこそ、下手ですが、これからも頑張っていきたいです」と意気込みを語られていました。皆さん、来月の『なつメロ会』もどうぞお楽しみに！



【十一月の予定】

●できたて食堂 天ぷら 7 次

●ミュージックセラピー 24 7 (火) 27 18 (土) (金) (月)

●なつメロ会 10 (金)

●風さやかショー 11 (土)

●おやつ作り みたらし団子 16 (木)

●すわってダンス 20 (月)

●お誕生日会 24 (金) 30 (木)

